

2 地球温暖化関係

- 2.1 千葉県における温室効果ガス排出量部門別内訳
- 2.2 CO₂CO₂スマート宣言事業所（プレミアム・コース）登録事業所の取組内容
- 2.3 県自らの事務・事業による環境負荷低減の取組実績（2021 年度）

2.1 千葉県における温室効果ガス排出量部門別内訳（2018年度）

分類・部門		温室効果ガス排出量 (千 t-CO ₂)
エネルギー起源二酸化炭素	エネルギー転換部門	1,569
	産業部門	41,837
	家庭部門	7,283
	業務その他部門	8,840
	運輸部門	11,126
非エネルギー起源二酸化炭素	廃棄物部門	1,842
	工業プロセス部門	1,507
二酸化炭素以外	メタン	609
	一酸化二窒素	644
	HFCs	216
	PFCS	69
	六ふっ化硫黄	33
	三ふっ化窒素	6
合 計		75,582

（注）端数処理（四捨五入）の関係で合計が一致しません。

2.2 CO2CO2スマート宣言事業所（プレミアム・コース）登録事業所の取組内容

事業所名称	取組内容
株式会社ビレッジアップ	太陽光発電設備を導入し、再生可能エネルギーとして販売しています。 ハイブリッド車を営業車として使用し、排気ガスの軽減を心がけています。 事務所内ではLED照明を導入しています。 昼食時の電灯消灯。外出時、退社時のパソコン消灯。キッチン、倉庫等の不在時消灯を徹底しています。
株式会社千葉銀行 本店	地球温暖化対策として、燃料電池自動車やハイブリッドカー、電気自動車など環境負荷の小さい車両を営業車に導入しているほか、山武市蓮沼にて、「ちばぎんの森（第5）」森林整備活動を実施し、失われつつある海岸保安林の再生に取り組んでいます。
妙中鉱業株式会社	ISO14001 マネジメントシステム活動の一環として、省エネを各部署の目的目標に掲げ、デマンド監視システムからのリアルタイム情報をもとに電力はもとより、ガス、重油等の使用量をトータルで管理しその削減に努めています。 従業員一人一人に省エネ意識を持たせるため、業務に支障のない範囲で消灯の実施、室温の適正管理(夏 28℃、冬 20℃を目安)等に取り組んでいます。
キャノンマーケティングジャパン株式会社 幕張事業所	キャノングループとして、国内はもちろん、海外の生産・販売会社も含めたISO14001の統合認証を取得しています。グループ共通の環境ルールのもと、効率的な環境活動を実施するとともに、継続的な改善を図っています。 幕張事業所では、以下の活動により、省エネ・省資源活動を行っています。 (省エネ活動) 環境配慮型複合機の導入や適性配置による消費電力削減や風量調整、給気温度の調整によるエネルギー使用効率の向上、又、ノー残業デーの徹底や使っていない会議室等消灯などの社員の協力により、省エネ活動を行っています。
東京都市サービス株式会社 幕張新都心ハイテク・ビジネス地区熱供給センター	幕張新都心ハイテク・ビジネス地区熱供給センターは、我が国初の「下水処理水の持つ熱を有効活用した環境保全型地域熱供給システム」を導入しています。 外気温と比べて、冬は温かく、夏は冷たい下水処理水の特性と「蓄熱式ヒートポンプシステム」を活用した地域熱供給プラントトップクラスのエネルギー活用にて熱を製造し、供給先のお客さまのCO2削減に貢献しています。
株式会社ビレッジアップガーデン	ハイブリッド車を営業車として使用し、排気ガスの軽減を心がけています。 ドライブレコーダーを導入し、車両の走行基準速度を設定することにより、急発進や急ブレーキ、速度超過などを把握できるようになりました。 また、急発進、急ブレーキ、速度超過などが減り、車両の燃費の向上にもつながり、地球環境にも優しい走行が行えます。

2.4 県自らの事務・事業による環境負荷低減の取組実績（2021年度）

（1）二酸化炭素排出量

（単位：t-CO₂）

区 分	二酸化炭素排出量 (2021 年度)	基準年度 二酸化炭素排出量 (2013 年度)	基準年度 からの増減
電気 (調整後排出量)	274,496 (282,783)	318,785 (311,135)	▲ 13.9% (▲ 9.1%)
庁舎等燃料使用	37,719	36,228	4.1%
都市ガス	24,336	23,152	
L P ガス	1,828	2,402	
灯油	5,456	4,844	
A 重油	5,813	5,684	
B・C 重油	0	0	
ガソリン	78	38	
軽油	105	28	
天然ガス	102	79	
公用車燃料使用	2,169	2,608	▲ 16.8%
ガソリン	1,722	1,826	
軽油	446	754	
天然ガス	1	28	
L P ガス	0	0	
船舶燃料使用	2,093	3,052	▲ 31.4%
A 重油	1,948	2,805	
軽油	143	245	
ガソリン	2	2	
合計 (調整後排出量)	316,477 (324,764)	360,673 (353,024)	▲ 12.3% (▲ 8.0%)

注：端数処理（四捨五入）の関係で、「合計」が一致しない場合がある。

（2）温室効果ガス総排出量

（単位：t-CO₂）

区 分	温室効果ガス排出量（2021 年度）					基準年度 総排出量 (2013 年度)	基準年度 からの 増減
	二酸化 炭素	メタン	一酸化 二窒素	ハイドロ フルオロ カーボン	総排出量		
電気 (調整後排出量)	274,496 (282,783)				274,496 (282,783)	318,785 (311,135)	▲ 13.9% (▲ 9.1%)
庁舎等燃料	37,719				37,719	36,228	4.1%
公用車燃料	2,169	3	74		2,247	2,671	▲ 15.9%
船舶燃料	2,093	5	17		2,115	3,085	▲ 31.4%
自動車エアコン				23	23	22	3.5%
麻酔剤（笑気ガス）			574		574	405	41.8%
家畜の飼育、糞尿処理等		1,369	343		1,712	2,090	▲ 18.1%
水田		51			51	170	▲ 70.3%
農作物の栽培に使用された肥料			134		134	32	322.5%
下水処理・下水汚泥の焼却		8,562	71,608		80,170	77,718	3.2%
合計 (調整後排出量)	316,477 (324,764)	9,990	72,751	23	399,240 (407,528)	441,205 (433,556)	▲ 9.5% (▲ 6.0%)

注1：端数処理（四捨五入）の関係で、「合計」又は「温室効果ガス総排出量」が一致しない場合がある。

注2：メタン、一酸化二窒素及びハイドロフルオロカーボンについては、二酸化炭素排出量に換算した値である。

(3) その他環境に配慮した取組

区 分	実 績 (2021 年度)
水道使用量 (千m ³)	1,570
用紙使用量 (千枚)	429,085
事業系一般廃棄物(可燃ごみ)排出量 (t)	4,479
環境配慮物品の調達率 (%)	77.6%
電力の環境配慮契約件数 (件) (注)	215

注：2022 年 4 月 1 日時点の契約数。